



消防大学校だより



平成30年度消防大学校フォーラム

女性消防吏員の活躍推進～男女ともに活躍できる職場づくり～

消防大学校では、平成30年10月10日（水）、大阪府（大阪市新梅田研修センター）において平成30年度の消防大学校フォーラムを開催しました。特別講習会としてNBC・爆弾テロ災害対応及び多数傷病者事故対応について講義が行われた第一部は188人、女性消防吏員の活躍推進をテーマとしたパネルディスカッションが行われた第二部は109人が参加されました。

そこで、第二部のパネルディスカッションについて御紹介いたします。

1 各パネリストからの意見発表

- 豊橋市消防本部 中陳 祐子 中消防署消防士長
消防大学校女性活躍推進コース2期生である中陳さんからは、消防署で警防業務に配置されている立場から、その現状や課題等について意見発表していただきました。
- 相模原市消防局 原子 泰治 消防総務課消防司令
消防局で採用・人事・研修担当をされている原子さんからは、女性消防吏員の採用の現状や、女性の受験率を上げるための工夫等について意見発表していただきました。
- 横浜市消防局 鈴木 誠 都築消防署仲町台消防出張所長
女性消防吏員が配置されている出張所長をされている鈴木さんからは、責任職として女性職員と一緒に勤務している立場から男女ともに活躍できる職場作り等について意見発表していただきました。
- 東京消防庁 長谷川 清美 企画調整部広報課長
本年9月まで消防署で警防課長をされていた長谷川さんからは、女性警防課長として組織の中で働いた経験や、女性消防吏員が今後益々活躍が期待されている中での消防吏員としての心構え等について意見発表していただきました。

2 ディスカッション

各パネリスト意見発表後のディスカッションでは、女性消防吏員の職域拡大が進み、消防業務における活躍の場が広がり、警防業務への配置が始まったばかりの本部や配置が当たり前になっている本部など、様々な状況がある中で、女性採用を進める工夫、女性だけでなく男性も働きやすく活躍できる職場作りや女性消防吏員の心構えなどについて意見交換が行われました。

会場からは、女性消防吏員として現場で活動したいという気持ちや、現実的にある制約をどう考えるか、また女性採用を進めるに当たり、男性中心に見られがちな消防のイメージをどのように変えていくかなどの意見がありました。女性活躍を推進していくには、女性が働きやすい職場というのは、男性も働きやすい職場であるという視点を持つことや、男女ともにそれぞれが得意／不得意なところを補い、助け合っていくことが大切であり、そのためにはお互いに思いやりの心を持ち、個人・組織で取り組んでいくことが重要であるという総括となりました。

最後に、ご協力いただきましたパネリストの皆様には感謝申し上げますとともに、受講者が本フォーラムで得た知見等を活かしていただき、各消防本部等において女性活躍の推進にさらに積極的に取り組んでいただくことを期待しています。

問い合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1711



自主防災組織育成短期コースについて

消防大学校では、自主防災組織の育成業務に係わる担当職員に対し、その業務に必要な基礎的知識及び能力を習得させることを目的に、「自主防災組織育成短期コースを実施」しています。

今年度は、平成30年10月18日(木)～10月19日(金)に東京都において、11月8日(木)～11月9日(金)に北海道において、それぞれ2日間実施し、都道府県、市町村、消防学校及び消防本部から自主防災組織の育成に携わる方が受講されました。

近年は、地震や記録的な豪雨により各地で甚大な被害が発生しています。大災害が発生した場合は、個々人の自助と地域における共助が非常に重要であることから、本コースにおいては、自主防災組織が安定して継続的に仲良く活動していくためにはどのような取り組みが必要なのかを、現場での実例や演習を中心に科目編成をしました。主な内容は以下のとおりです。

(1) 防災行政（講義）

地域における消防防災体制や、自主防災組織の育成・活性化のための施策、また、災害対策基本法の概要等について、消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室による講義を実施しました。

(2) 自主防災組織の活動（講義）

自主防災組織の活動事例・経験談、地域の防災訓練の実施や地域と地元企業との関係構築などについて、実例を交え、東京都会場においては、東京都あきる野市防災・安心地域委員会本部長 大久保 春彦 氏、北海道会場においては北海道札幌市北郷親栄第一町内会長 田畑 隆二 氏による講義を実施しました。

(3) 自主防災組織の指導・育成（講義）

地域防災とまちづくりや地域防災の再生、自主防災組織の担当者として必要な知識や実例等につい

て、山口大学大学院創成科学研究科准教授 瀧本 浩一 氏による講義を実施しました。

(4) 地域防災推進のための研修体験（演習）

図上訓練の舞台となる地図上を実際に歩き、避難所や危険箇所の確認を行うまち歩きの実践、また、まち歩きした場所を舞台にした図上訓練を行い図上訓練の手法を学ぶ災害図上訓練DIGを、東京都においては、山口大学大学院創成科学研究科准教授 瀧本 浩一 氏、減災研究会代表 岩本 憲治 氏及び青森県危機管理局防災危機管理課 山口 哲史 氏、北海道においては、瀧本氏及び岩本氏、そして佐賀県政策部危機管理・報道局消防防災課地域防災・消防力向上担当係長 津村 聡 氏による指導のもと実践しました。

(5) 防災啓発事業の創出

(4)の研修体験終了後、引き続き、参加者による意見交換や防災啓発事業立案の検討などを行いました。

受講者からは、「啓発の大切さを改めて感じた。」、「地域の防災知識の高め方や自主防災組織のあり方を考えさせられた。」、また、「発災後の対応も重要だが、日頃からの防災意識の啓発の重要性を認識した。」などの意見がありました。

本コースは、2日間という短い期間ですが、講義と演習を取り入れ集中的・効果的に学べるようカリキュラムの編成を行っています。

受講者の皆様には、本コースで得られた知見等を今後の自主防災組織の育成業務に役立てていただければ幸いです。

問い合わせ先

消防大学校調査研究部
TEL: 0422-46-1711